



宇宙服はどのぐらいの重さがあるの

宇宙服は、だんだん改良されてきた

最初の宇宙服は、宇宙飛行士が宇宙船の外へ出ることがなかったため、宇宙船の中でだけ着るものでした。そのころの宇宙飛行士は、打ち上げのときから、食事、すいみん、トイレ、そして、帰ってくるまで、同じ宇宙服を着ていました。

次に作られた宇宙服は、宇宙飛行士が宇宙空間に出ても、安全なものになりました。これには、生命を守るための装置がついていて、宇宙のちりや、宇宙で激しく変わる温度から身を守ります。

現在の宇宙服は、生命を守るための装置のほかに、通信や、噴射ロケットで、宇宙空間を移動する装置もついています。

40キログラムぐらいある

宇宙服の中で、生命を守るための装置は、最も大切なものです。酸素タンク、温度調節装置、水のタンクと二酸化炭素を取り除く装置、それに、非常のときの生命を守る装置からできています。

宇宙船の外で活動する時間が、長くなったりしたときに、水が飲めるように飲み水用のふくろがついています。さらに、棒のようなキャンディーが口元の所にあって、おなかですいたら、食べられるようになっています。また、ヘルメットは、たいへんじょうぶな合成樹脂からできています。

このように宇宙服は、服そのもののほかに、たくさんの装置がついているので、たいへん重くなっています。その重さは、40キログラムぐらいです。（監修・国司 真）

